

TOTO

ウォシュレット一体形便器(リモデル)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	--	---------------------

注意	
	陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

2 部品の確認

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名称	個数	略図	備考
便器	1個		質量：30kg
排せきパイプ	便器接続部 (ゴムジョイント付き) 1個		
	横引管 1個		
プレール	床フランジ接続部 1個		
	金属フランジ用 1個		
	樹脂フランジ用 1個		
固定	六角ボルト 2個		
	止め金具 2個		
	ナット 2個		
	座金 (排水ソケット用) 2個		
	木ねじ (排水ソケット用) 4個		十字穴付きタッピンねじ トラス4種 6×40
	固定片 1個		
	皿木ねじ 1個		十字穴付き皿木ねじ トラス4種
金具	座金 (固定片用) 2個		
	木ねじ (固定片用) 2個		十字穴付きタッピンねじ トラス4種 6×50
	Tボルト 2個		
	座金 2個		
	ナット 2個		
施工説明書	1個	本紙	
施工用型紙	1個		
分岐カバー (なべ小ねじ付き)	1個		
化粧	化粧キャップ (前) 1個		
化粧	化粧キャップ (後) 2個		
給水	止水栓 1個		説明書付き
接続	給水ホース (パッキン付き) 1個		
部	クイックファスナー 1個		組み立て済み (左給水用)
組	給水ホース (パッキン付き) 1個		
立	インシュロック 1個		長さ違い右給水付け替え用

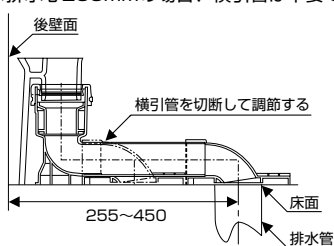
3 取り付け前のご注意

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。便器先端から400mm以上の空間を確保してください。
- ※室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因になります)

■ 排水心の確認

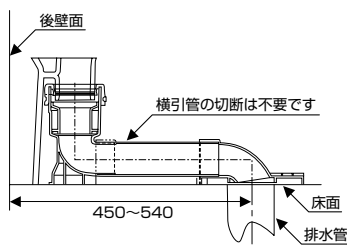
● 排水心255~450mmの場合

- 横引管を排水心に合わせて切断し、塩ビ接着剤で確実に接続してください。
- ※排水心255mmの場合、横引管は不要です。



● 排水心450~540mmの場合

- 横引管の切断は不要です。便器を前にずらして施工してください。

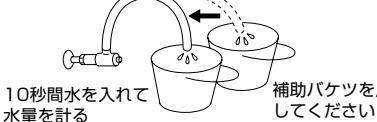


■ 設置前に水圧を測定ください。

- 最低必要水圧：0.07MPa (20L/min流動時) が必要です。この水圧を確保できないと汚物を排出しないことがありますので注意してください。最高水圧は0.75MPaです。
- 注1：洗面所や浴室など他の水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と流量が必要です。
- 注2：配管は呼び径13以上をご使用ください。(上記水圧と流量の確保のため)

〈バケツによる簡易測定方法〉

〔測定要領〕



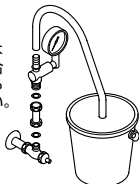
下表の水量があれば最低必要水圧は確保できています。

止水栓のタイプ	水量(10秒間)
本商品同梱の止水栓	5.5L以上
ロータンク用止水栓(壁給水)	4.5L以上
ロータンク用止水栓(床給水)	4.0L以上

〈水圧測定専用器具による測定方法〉

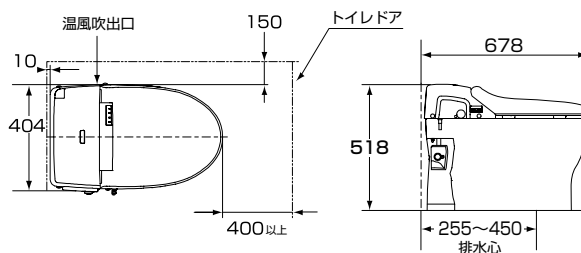
HH15003 (希望小売価格 ¥5,250【税込¥5,512】) を利用する。(HH15003に止水栓は含まれておりません)

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

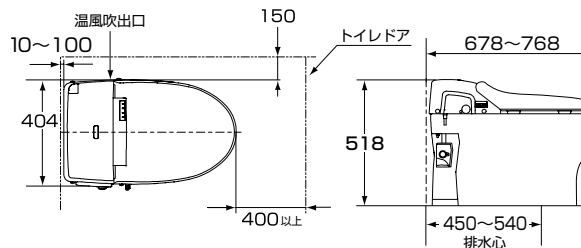


商品セット図

施工完了図 (排水心255~450の場合)

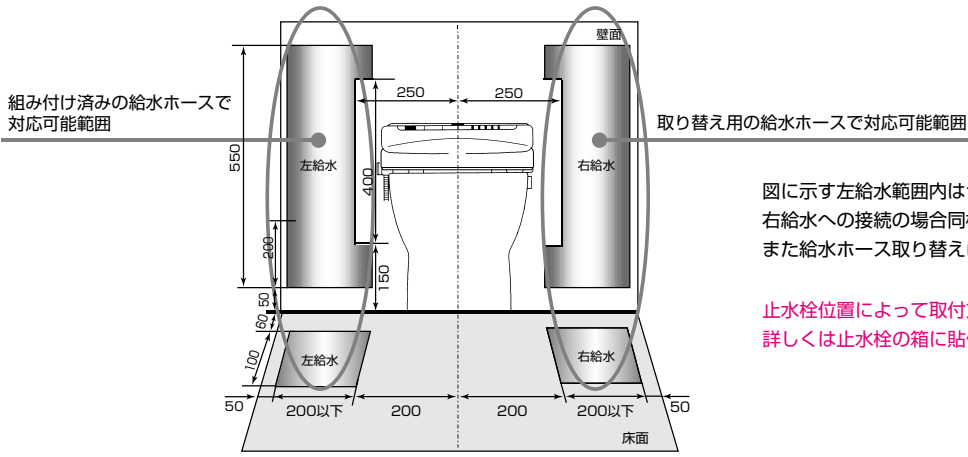


施工完了図 (排水心450~540の場合)



注) C730から取り替えの場合、排水心から壁から540mmにあるため便器と壁とのすき間は100mmとなります。

4 給水位置の確認

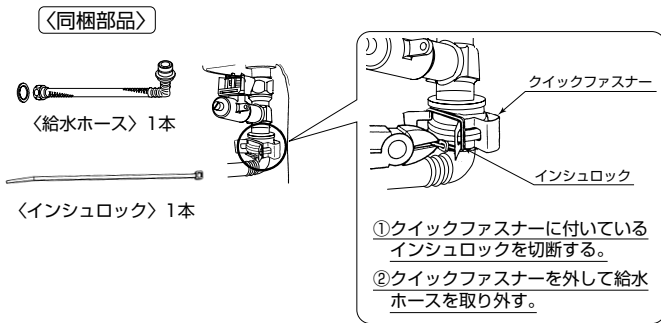


図に示す左給水範囲内はセットされている短い給水ホースで接続可能です。右給水への接続の場合同梱されている長い給水ホースへ交換してください。また給水ホース取り替えについては下図の手順をご確認ください。

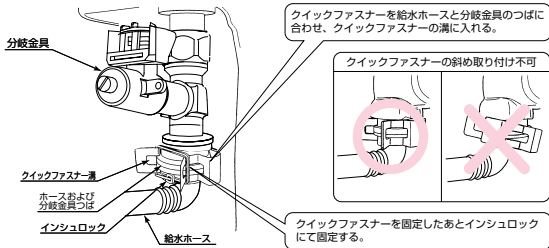
止水栓位置によって取付方向が異なります。
詳しくは止水栓の箱に貼付けの説明書をご確認ください。

給水ホース取替手順

1. 給水ホースを取り外す。



2. 給水ホースを接続し、クイックファスナー、インシュロックにて確実に固定する。



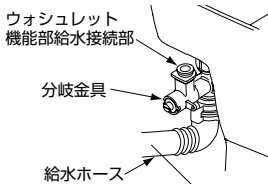
注意

- 給水ホースの接続は、分岐金具の差込口の真下から挿入する。Oリングが傷つき、水漏れするおそれがあります。
- 給水ホースと分岐金具は、必ずクイックファスナーとインシュロックで固定する。
- クイックファスナーの溝にホースおよび分岐金具のつばが、全周かかっていることを確認する。ホースが外れて、水漏れするおそれがあります。
- ヒーター付き便器・水抜併用方式お使いのお客様は、ホース内の水抜きができるよう勾配を確保して、取り付ける。水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。

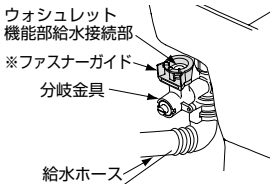
5 各部の名称と施工のポイント

※製造時期によって分岐金具にファスナーガイドがある場合とない場合があります。

ファスナーガイドがない場合



ファスナーガイドがある場合



ポイント⑧
右給水の場合、給水ホースを右側へ取りまわしたあとに便器を取り付けること！(➡⑧)

ポイント⑦
分岐カバーの取り付けはウォシュレット機能部を取り付けたあとに行うこと！(➡⑩⑪)

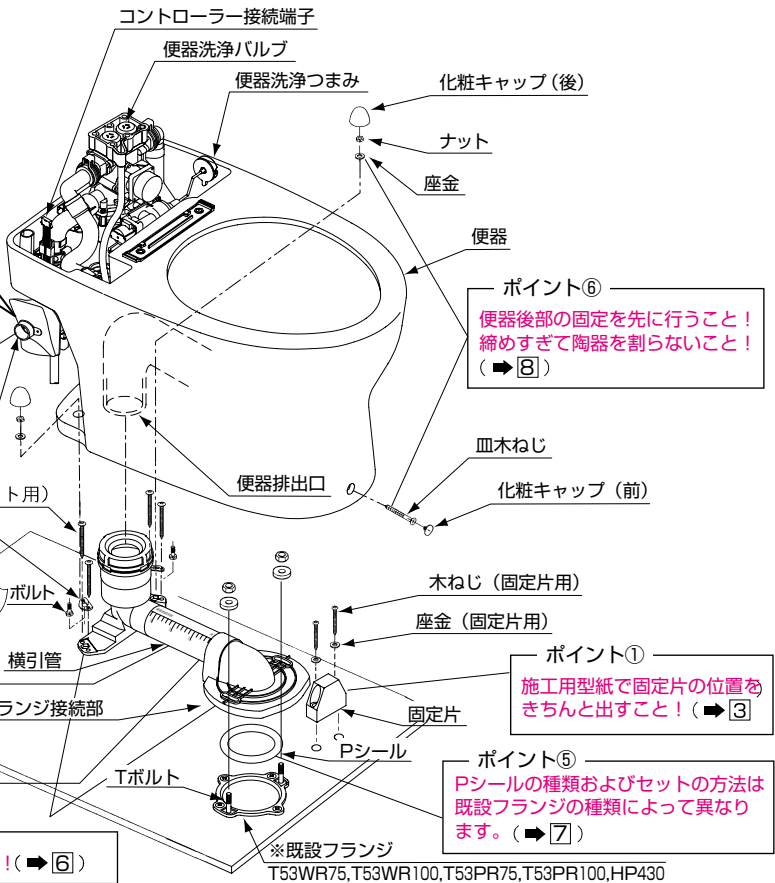
ポイント②
横引管切断は真っすぐ切断すること！(➡④)

ポイント③
接着剤塗布位置を間違えないこと！(➡⑥)

ポイント④
床面に対してガタツキがないように接着すること！(➡⑥)

ポイント①
施工用型紙で固定片の位置をきちんと出すこと！(➡③)

ポイント⑤
Pシールの種類およびセットの方法は既設フランジの種類によって異なります。(➡⑦)



T53WR75, T53WR100, T53PR75, T53PR100, HP430

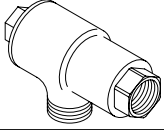
6 便器施工要領

1 既設便器の取り外し

■既設の便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。
その後、既設フランジ中心線を床にけがいでください。

2 取り替え用止水栓の取り付け

■既設の止水栓を取り外し同梱の止水栓を取り付ける。

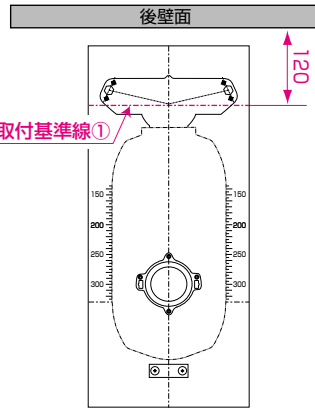


止水栓位置によって取付方向が異なります。
詳しくは止水栓の箱に貼付けの説明書をご確認ください。

3 施工用型紙の位置決め

排水心255~450mmの場合

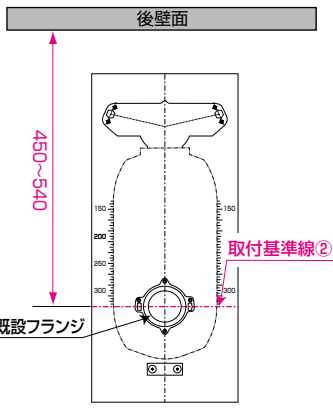
■後壁面から120mmの位置に型紙の取付基準線①を合わせて置く。



※取付基準線の位置決めは左右の2か所で行ってください。

排水心450~540mmの場合

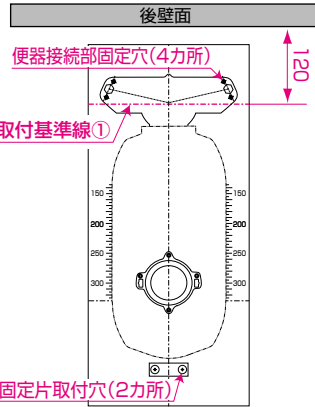
■既設フランジ中心線に型紙の取付基準線②を合わせて置く。



5 型紙で固定穴位置をけがく

排水心255~450mmの場合

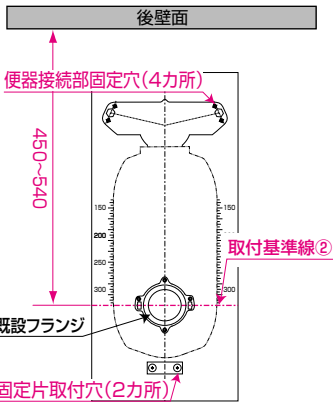
①後壁面から120mmの位置に型紙の取付基準線①を合わせて置く。



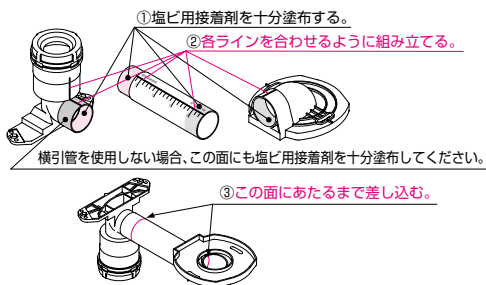
②型紙を所定の位置に置き便器接続部取付穴位置と固定片取付穴位置をけがく。
※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業しやすくなります。

排水心450~540mmの場合

①既設フランジ中心線に型紙の取付基準線②を合わせて置く。



6 排水アジャスターの組み立て

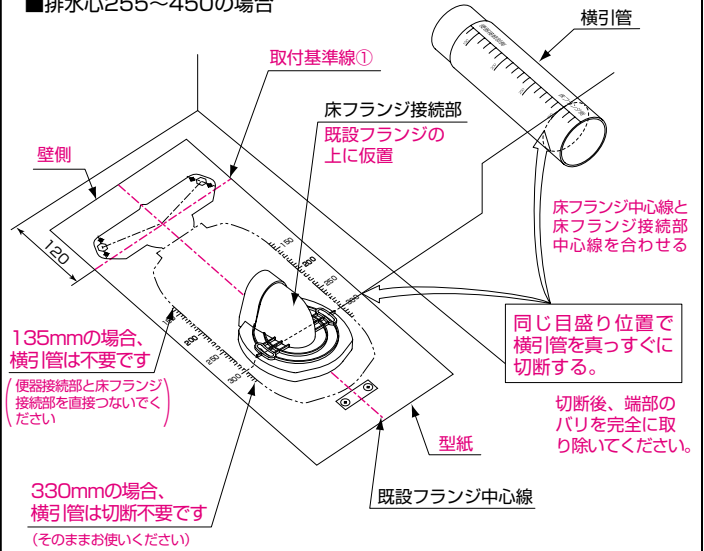


注意

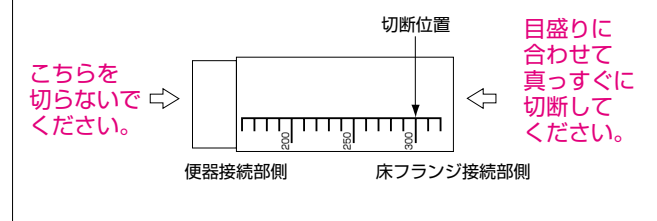
- ・横引管は最後まで、きちんと押し込む接着が不十分だと水漏れの原因になります。
- ・床面に対してガタツキがないように接着するガタツキが大きいと水漏れの原因になります。

4 横引管の切断

■排水心255~450の場合



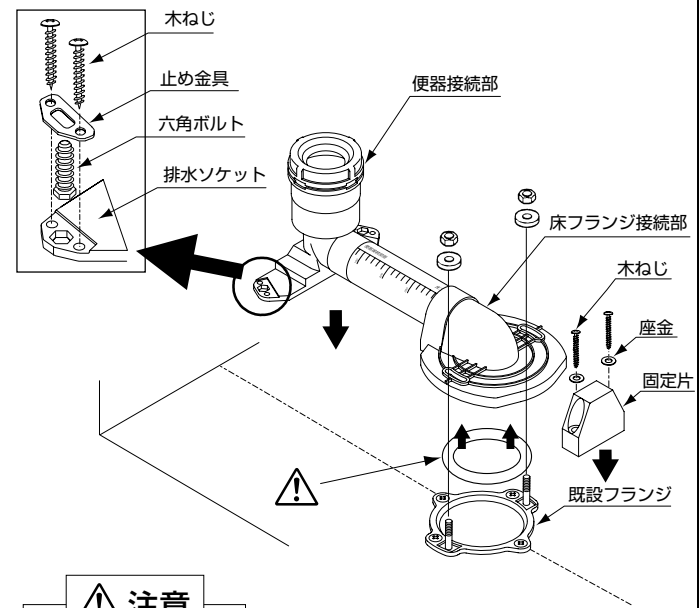
(例) 上図測定寸法が300mmの場合



■排水心が450~540の場合、横引管は切断不要です。
そのままお使いください。

7 固定片・排水アジャスターの取り付け

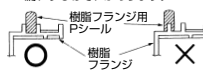
- ①便器接続部固定部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、木ねじで床に固定する。
- ②床フランジ接続部を、座金・ナットで既設フランジに固定する。
- ③固定片を所定の位置に、木ねじで床に固定する。



注意

Pシール取り扱い上の注意

既設の床フランジのタイプに合わせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールをお使いください。なお、TOTO樹脂フランジのように溝のあるタイプは先にフランジの溝にPシールをセットしてください。
※溝にきちんとおさまっていないと水漏れするおそれがあります。



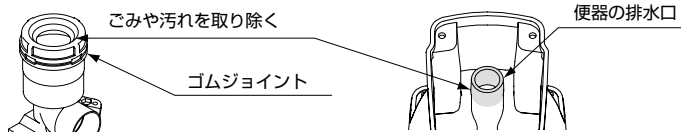
※座金を入れて確実に木ねじを締めてください。

注意

排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

8 便器の取り付け

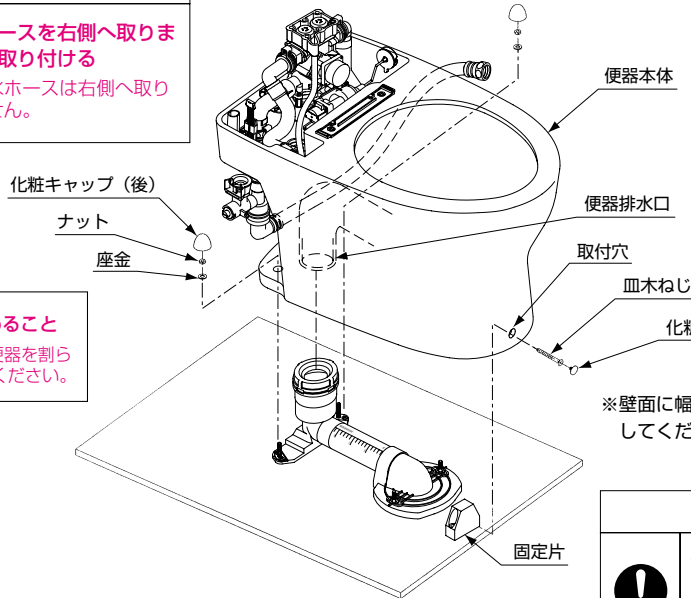
- ①便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き排水口を排水ソケットに差し込む。
- ②便器後側の取付穴（2カ所）を、座金・ナットで排水ソケットに固定し化粧キャップを取り付ける。
- ③便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップを差し込む。



⚠ 注意



右給水の場合給水ホースを右側へ取りまわしたあとに便器を取り付ける
便器セット後に、給水ホースは右側へ取りまわすことができません。



注意1

ナットを確実に締めること
ナットを締めすぎて便器を割らないように注意してください。

注意2

皿木ねじの増し締めは必ず手締めのこと
皿木ねじを締めすぎて便器を割らないように注意してください。

※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

⚠ 注意



便器後側の固定を必ず先に行う

前側の固定を先に行くと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れするおそれがあります。

9 給水ホースの取り付け

- 給水ホースの袋ナットにパッキンを入れて止水栓に固定する。

10 ウォシュレット機能部の取り付け・試運転

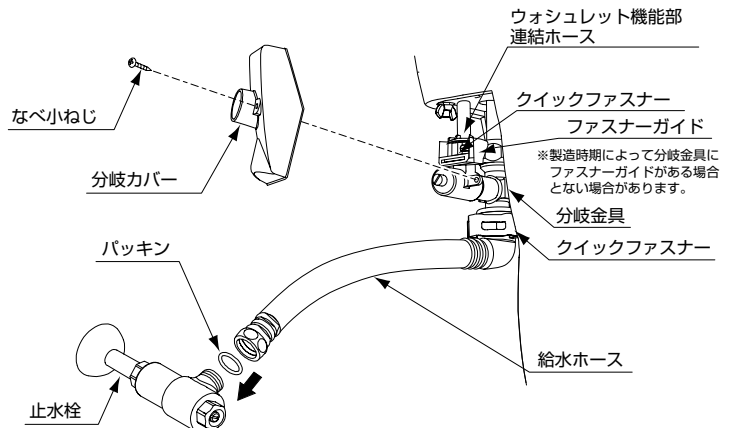
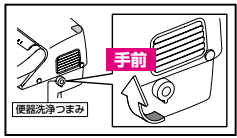
- ウォシュレット機能部同梱の施工説明書を参照のこと。

⚠ 注意

初回通水確認時、「便器洗浄つまみ」にて確認する際は、必ず「手前」（リム側）から回すこと。



初めに「奥側」から回すと、配管内の空気の影響で水が止まらなくなるおそれがあります。



11 分岐カバーの取り付け

- 試運転確認後、分岐カバーを取り付ける。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

- 便器下部と床のすき間に水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器床接地部周囲に防カビ性の透明シリコンシール剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。

